

海外から見た 日本の教員養成

sat

11.21

13:30

16:30



東京学芸大学 芸術館ホール

日本語及び英語（通訳付）
参加無料

※事前申し込みは不要です

本年は、東京学芸大学の創設 60 周年にあたります。また、2000 年に全国共同利用施設として発足した本センターのシンポジウム「これからの学校教育と教員養成カリキュラム」も 10 回目の区切りの年を迎えました。

今回の企画では、近年急ピッチで改革の進む日本の教員養成と教員養成系大学の状況に関して、国外の研究者の目にどう映っているか、をテーマの軸としました。今、わたしたちが直面している課題はグローバルに進む改革の流れの一環なのか、それとも日本の教員養成に固有の課題なのか……本センターの培ったネットワークの中から、特に日本の事情に詳しい 4 名の話者提供をいただきながら、参加者のみなさんとともに考えていきたいと思います。お忙しい時期とは存じますが、多くの方々の参加をセンター一同お待ち申し上げます。

●プログラム

中国から見た日本の教師教育  饒 従満 (東北師範大学教授)

台湾から見た日本の教師教育の課題  楊 思偉 (台中教育大学長)

タイ人研究者の見た日本の教師教育  チャンタナ・チャンバンチョン (ナレースエン大学教授)

スウェーデンから見た日本の教師教育の国際化  オレグ・ポポフ (東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター客員教授/ウメオ大学准教授)

司会  岩田康之 (東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター准教授)

